



公益財団法人愛知県文化振興事業団

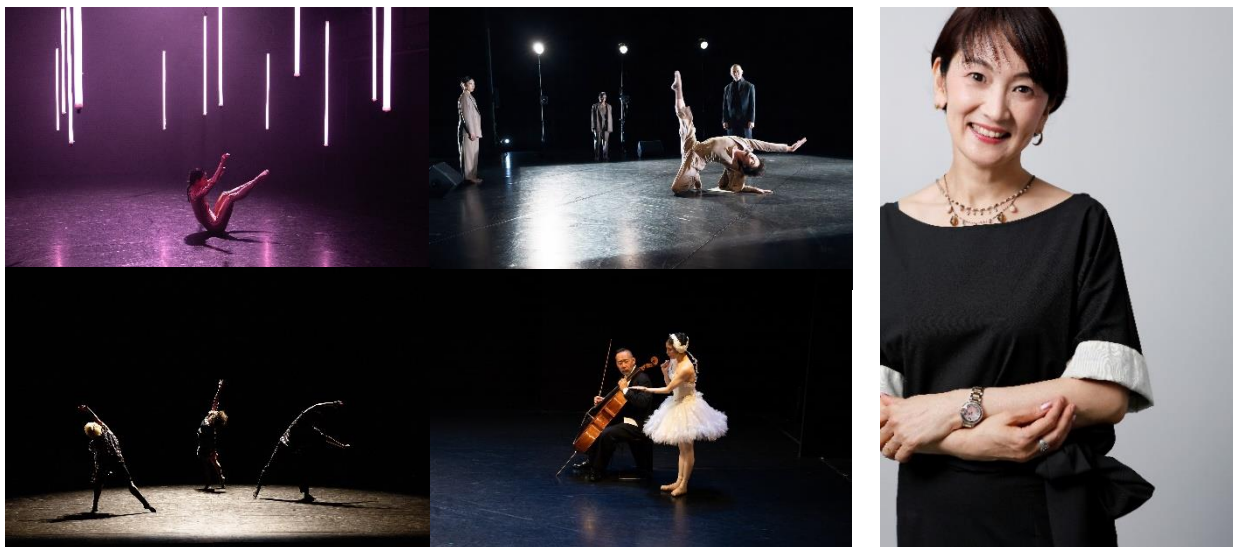
2023年3月1日(水)  
愛知県芸術劇場  
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)  
広報・マーケティンググループ  
☎ 052-955-5506

速報

## <Press Release>

報道各位

文化庁が実施する令和4年度(第73回)芸術選奨において、このたび愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサーの唐津絵理が文部科学大臣賞を受賞しました。



愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサー唐津絵理©Takayuki Abe

文化庁が実施する令和4年度(第73回)芸術選奨において、このたび愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサーの唐津絵理が文部科学大臣賞を受賞しました。

本芸術選奨は、1950年(昭和25年)から文化庁が毎年度実施。芸術各分野において、優れた業績を挙げた方、または新生面を開いた方に、芸術選奨文部科学大臣賞、同新人賞が贈られています。

今回の唐津の受賞には「Performing Arts Selection 2022」の成果が挙げられています。

「Performing Arts Selection 2022」は、プロフェッショナルなダンス環境の整備とクリエイター育成を行うダンスハウス「Dance Base Yokohama」と当劇場の連携により、2021年10月から12月のコロナ禍に創作・上演したダンス作品のツアー公演です。

このツアー公演は、全国の公立文化施設におけるダンス上演の機会の拡充や、国際的なダンサーが出演する質の高いダンス作品の提供、舞台芸術の再演の増加を目的に実施しており、22年9月の高知県立美術館(高知)を皮切りに、まつもと市民芸術館(長野)、いわき芸術文化交流館アリオス(福島)、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館(新潟)、吉祥寺シアター(東京)、熊本県立劇場(熊本)、山口情報芸術センター(山口)などの劇場や美術館で上演され、全国で1,716人が来場しました。

23年度も新国立劇場(東京)、幸田町民会館(愛知)、北九州芸術劇場(福岡)等をツアーする予定です。

## お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(林健・小出・武石)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541

E-mail: [pr@aaf.or.jp](mailto:pr@aaf.or.jp) WEB: <https://www.stage.aac.pref.aichi.jp/event/detail/000919.html>



## 受賞の理由



唐津絵理は、公共劇場でプロデューサーとして活動を行い、さらに 2020 年に民間支援による新しいダンスハウス「Dance BaseYokohama」の立ち上げに参画、これらの連携の成果として 22 年は「愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション 2022」の全国ツアーを行い、ダンスの多様性を示し高く評価された。アーティストの自立的な活動を支援し、可能性を引き出すために、安全安心な制作環境を整えようと活動を始めた。また創客の視点から、舞台芸術の批評眼を持った新たな観客を生み出すことにも力を入れてきた。これらの活動は芸術振興の意味や方法を改めて問い直す契機ともなった。ダンスに止まらない芸術の創造と振興・支援施策のあり方両面に影響を与える重要な取り組みを牽引してきた存在である。

## 受賞者プロフィール

唐津絵理

愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサー

Dance Base Yokohama(DaBY)アーティストックディレクター

熊本県出身。お茶の水女子大学文教育学部卒業及び同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センター勤務。2014 年より愛知県芸術劇場プロデューサー。2000 年第一回アサヒビール芸術賞受賞。2010 年～16 年あいちトリエンナーレのキュレーター（パフォーミングアーツ部門）。文化庁文化審議会文化政策部会委員、全国公立文化施設協会コーディネーター、セガサミー文化芸術財団の理事やメセナ活動のアドバイザー、大学の非常勤講師、助成財団やコンクールの審査員等を務める。パフォーミングアーツの幅広い分野で、実験的作品から国際共同製作まで多数のプロジェクトを企画プロデュースする一方で、健全な舞台芸術環境の整備のための様々な実験と提言を行う。ディレクションした DaBY が 2020 年度グッドデザイン賞受賞。著書に「身体の知性」等。



©Takayuki Abe

# 唐津絵理が携わった主な作品(企画プロデュース)

**2021年12月** 当劇場×創作するプラットフォーム Dance Base Yokohama で3つのダンス作品を創作した公演  
**鈴木竜トリプル・ビル**

22年に長野(松本)、新潟、東京、熊本にて「Performing Arts Selection 2022」として上演

**10月** 国際的に活躍する日本人女性ダンサー3名がダンスの継承と再構築に臨んだ公演  
**TRIAD DANCE PROJECT『ダンスの系譜学』安藤洋子×酒井はな×中村恩恵**  
ダンスアカデミックの継承、そして未来への提言 - フォーキン、キリアン、フォーサイズ そして岡田利規

22年に高知、長野(松本)、福島(いわき)、新潟、東京、熊本、山口にて「Performing Arts Selection 2022」として上演

**6月** コロナ禍における世界的フラメンコダンサーの来日を実現したダンス×音楽のコラボレーション公演  
**ダンス・コンサート イスラエル・ガルバン『春の祭典』**

同年に神奈川にて上演

**19年3月** ウィーン国立バレエ団芸術監督マニュエル・ルグリや、ポリショイ・バレエ団プリンシパルの  
オルガ・スミルノワをはじめ世界的バレエダンサー・音楽家と創り上げた新作公演  
**ダンス・コンサート「Stars in Blue」BALLET&MUSIC**

同年に東京、宮崎にて上演

**18年1月** 愛知県出身の国際的な2名の女性アーティストが日本初ドラミングのダンス作品に挑戦した公演  
**加藤訓子(パーカッション)×平山素子(ダンス)『DOPE』**

同年に埼玉にて上演

**16年10月** 愛知県奥三河に息づく重要無形民俗文化財「花祭」をモチーフにしたダンス公演  
**あいちトリエンナーレ 2016 Co.山田うん「いきのね」**

19年に神奈川、21年に高知にて上演

**4月** 日本7か所の各地域をはじめ、世界で上演されたコンテンポラリーダンスとラップが融合した公演  
**島地保武×環 ROY「ありがた」**

17年に豊川、横浜、春日井、知立、山口、18年に名古屋、20年に横浜、富山、フランス・パリにて上演

**05年9月** 愛・地球博に合わせて創作。日本神話に登場するダンサーの起源を題材にした公演  
1960年代から舞踏を続ける笠井叡の振付でバレエ界の伝説ファルフルジマトフが出演  
**あいち芸術の森 プロジェクトダンスオペラ3『UZME(ウズメ)』**

同年に愛知万博会場にて上演

**02年11月** 2002年度舞踊批評家協会大賞受賞。多面舞台を持つ劇場の特性を活かしたダンス×音楽の公演  
**オーケストラ演奏と合唱による  
H・アール・カオス ダンス公演『カルミナ・ブラーナ』**